

みよし おだきはちろう  
広島県三次市 小田喜八郎文書 仮目録

広島県立文書館

平成 30 年 (2018) 3 月

凡 例

- 1 本目録には、広島県三次市 小田喜八郎文書を掲載した。
- 2 目録の各項目は次のとおり。

**請求記号** 本文書群の群番号は (201308) と、この項目の記号を組み合わせたものが請求記号になる。

【例】 1 → 201308/1

**表 題** 資料に原表題のあるものはそのまま採り、ないものは適宜付与し〔 〕書きで表記した。

**年 代** 資料に記された作成年月日を探った。

**作 成** 資料の作成者・編著者名を記した。補足した場合は( )で表記した。

**形 態** 資料の形態を記した。

**数 量** 資料の点数を記した。

**備 考** 資料の状態等、特に留意すべき点があれば適宜記した。

- 3 文書の配列は請求記号順とした。
- 4 利用の参考のため、本文書群の概要を冒頭に記した。

## 【文書群概要】

# 広島県三次市 おだきはちろう 小田喜八郎文書（請求記号 201308）

小田喜八郎の「海軍履歴表」

**出所** 小田家

**出所地名** 広島県三次市〔現在地名〕

**分量** 1点（1冊）

**収蔵までの経緯** 小田喜八郎の次男が所蔵していたが、その死後の平成25年11月に、近所の人を通じて次男の妻から広島県立文書館へ寄贈された。

**年代** 昭和20年（1945）

**歴史** 小田喜八郎は明治36年に生まれ（本籍地は双三郡三次町）。大正10年（1921）6月1日に呉海兵団へ四等水兵として入隊した。巡洋艦「浅間」、戦艦「伊吹」に乗り組んだ後、同11年5月から呉防備隊で勤務、海軍水雷学校を卒業し、同12年5月から駆逐艦「山風」に水上二聯装発射機員として、同15年11月からは駆逐艦「菊月」に掃海員として搭乗した（大正13年6月に一等水兵）。昭和2年5月に現役満期（三等兵曹）となったが、同16年8月の充員召集により再び呉海兵団へ入団した。巡洋艦「金剛丸」に乗り組み南洋方面へ従軍したが、マラリヤ発病のため帰国した。その後は第三十二掃海隊、佐伯防備隊（昭和17年11月に海軍二等兵曹）へ入隊、昭和18年9月からは第16明玄丸へ配乗した。昭和20年9月に充員召集が解除され、帰郷した。33回忌が営まれたので、35年前（1980年前後）に亡くなったのではないかと推測される。

**内容** 小田喜八郎の「海軍履歴表」。

**関連史料** 「広島県三次市 楠功氏所蔵資料」（201407）も同出所

**検索手段** 「広島県立文書館収蔵文書仮目録」

（2015.7.28 記述／西村 晃）

（2018.2.13 改定／西村 晃）

